

2019年12月25日

報道関係各位

由布院地区における観光型 MaaS 実証実験実行委員会
(事務局：九州旅客鉄道株式会社)

由布院地区における「観光型 MaaS」実証実験に向けて 実行委員会を設立しました

九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：青柳俊彦）をはじめとする由布院に関係する団体・交通事業者等は、九州を代表する観光地である由布院地区において、お客様の利便性向上と更なる魅力向上を目的として「観光型 MaaS（=Mobility as a Service）」の実証実験の実施を目指し、調整を行ってまいりました。

「観光型 MaaS」とは、スマートフォンなどを活用し、観光エリアまでの1次交通（航空や鉄道、高速バス等）、観光エリアにおける2次交通（バス、タクシー等）そして観光施設などの情報提供・検索・予約・決済を統合したサービスを提供するものです。

このたび、実証実験を強力に推進することを目的に「由布院地区における観光型 MaaS 実証実験実行委員会」（会長：桑野 和泉 一般社団法人 由布院温泉観光協会 常任顧問、以下「実行委員会」）を設立しましたのでお知らせいたします。

実証実験の詳細につきましては、決まり次第改めてお知らせいたします。概要は以下の通りです。

■ 実行委員会について

（1）設立日

2019年12月13日

（2）参加団体等

九州旅客鉄道株式会社、亀の井バス株式会社、西日本鉄道株式会社、みなとタクシーグループ、第一交通産業株式会社、全日本空輸株式会社、一般社団法人由布院温泉観光協会、由布院温泉旅館組合 等 （順不同）

（3）実行委員会の主な役割

- ・実証実験の事業計画策定
- ・地元企業等への周知及び事業促進
- ・MaaS アプリ内で販売する、デジタルチケットの商品造成
- ・利用者拡大を目的とした宣伝・広報活動

■ 実証実験について

(1) 目的

旅行者の発地と由布院および周辺エリアへのシームレスな移動の実現による利便性の向上、由布院および周辺エリアにおける旅行者の滞在・周遊促進

(2) 期間

2020年6月頃～半年程度（予定）

(3) 地域

大分県由布市及びその近郊

(4) 使用する MaaS アプリ

EMot（エモット）※1 【利用料：無料（アプリ内課金あり）】



EMot は、小田急電鉄が開発するオープンな共通データ基盤「MaaS Japan」(※2) を活用した MaaS アプリで、鉄道やタクシー、バスなどを組み合わせた複合経路検索ができ、検索結果から連携しているアプリ、サイトへ遷移して予約・決済が可能です。また、交通サービスの利用券や観光施設への入場券等のデジタルチケットの販売機能を有しています。

※1：EMot 紹介サイト (<https://www.emot.jp/>) でアプリの機能をご紹介します

※2：「MaaS Japan」は小田急電鉄株式会社の登録商標です

報道関係者のお問合せ先

九州旅客鉄道株式会社(事務局) 広報部 TEL:092-474-2541